

<白金標準先物、感染リスクと恒大集団のデフォルトリスク・・・>



(出所：オアシス)

世界のプラチナ供給 7 割を占める南アフリカで、先週に新型コロナ・ウイルスのオミクロン株が確認され、南アフリカでは新規感染者数が倍増するなど感染拡大を見せている。そのため週明けにはラマポーサ大統領は国民向けに演説を行う予定である。しかし重篤者が非常に少なく、ほとんどが無症状で軽症者である事から大規模なロックダウンには結び付かないと予想される。

ただ中国の恒大集団 CEO が先週末に香港証券取引所の届け出で「グループとして債務の返済義務を履行し続けるための十分な資金を確保できる保証はない」と説明し、また広東省政府は恒大集団が通常業務を確実に遂行できるよう作業チームを派遣すると同省がウェブサイトで声明を発表している。そのため 9 月の中秋節、10 月の国慶節でデフォルト懸念から回避の動きへと変化し、巻き戻しの動きを強めたケースと同様であり、今週は 3600 円へ向けた戻りを強めて来るのではないかと予想される。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が下げている。また RCI でも **短期** が底張りを示しながら **長期** が下げている、強気を示すクロス待ちの状態である。

<データ>

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 501777 (前週比-99499)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 71.62 (前週比+0.29)

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 300,000 円(2021 年 12 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 31,460 円(2021 年 12 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30) 証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター <https://www.nisshokyo.or.jp>